

令和7年度一関市立滝沢小学校

## 第3回学校運営支援協議会

日 時 令和8年2月17日(火)

(14:00～) 14:45～

場 所 滝沢小学校PCルーム

### 次 第

進 行 事務局(副校長)

( 授業参観 14:00～14:40 )

- 1 開 会
- 2 校長あいさつ
- 3 報 告
  - ・令和7年度学校評価結果について
- 4 熟 議
  - (1) 令和7年度学校評価結果について
  - (2) 令和8年度の学校経営について
- 5 その他
  - ・提出書類について
- 6 閉 会

## 令和7年度委員名簿

順不同・敬称略

No	氏 名	所属・役職等	備 考
1	蜂 谷 和 久	滝沢市民センター長	
2	菅 原 勝	滝沢地域振興協議会	
3	菅 原 千 夏	滝沢小PTA会長	
4	須 藤 光 子	主任児童委員	
5	渡 辺 一 男	児童クラブ運営委員長	
6	阿 部 大 樹	鶏舞保存会	
7	小 松 由香里	校 長	
8	小 森 篤	副校長	事務局

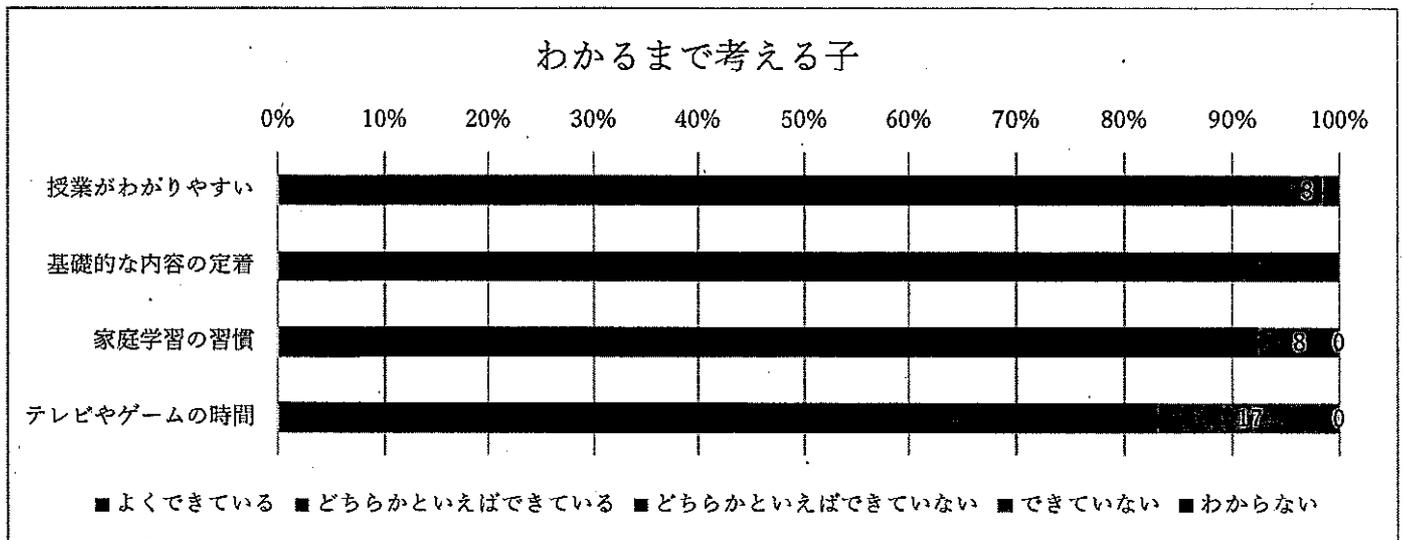
### 令和7年度 滝沢小学校学校運営支援協議会役員

役 職	氏 名	
会 長	蜂 谷 和 久	
副会長	菅 原 千 夏 小 松 由佳里	
事務局	小 森 篤	

# 保護者アンケート結果のお知らせ

令和8年1月16日  
一関市立滝沢小学校

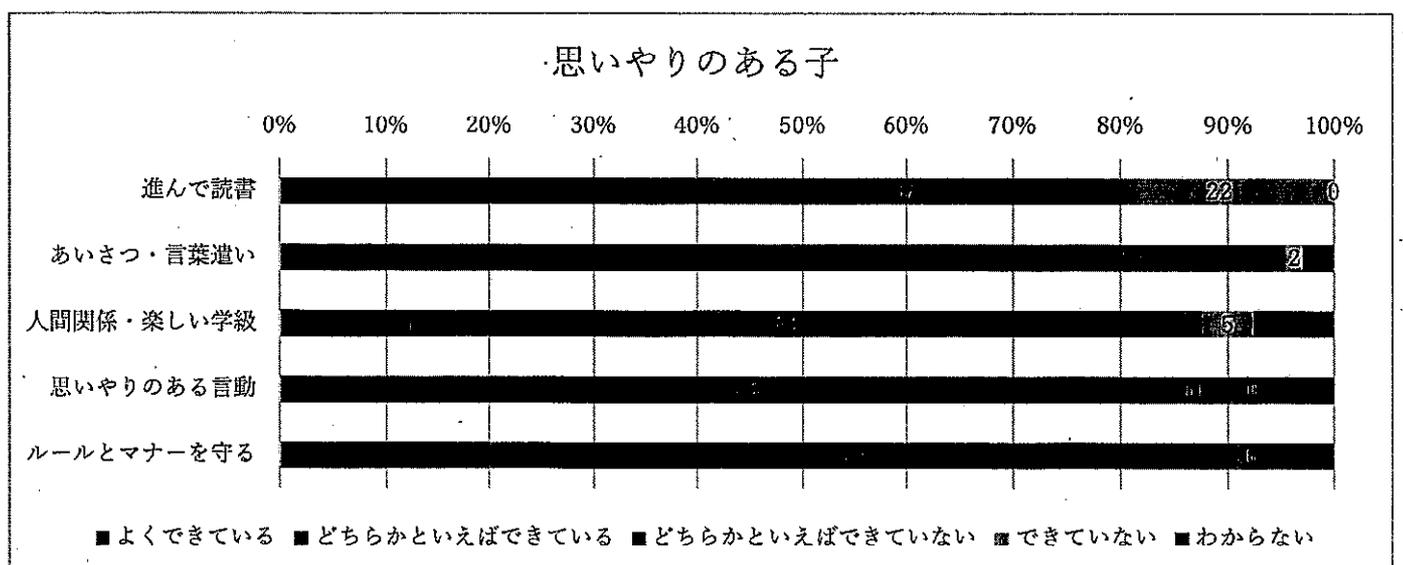
11月末から12月上旬に行いました教育活動アンケートの結果についてお知らせいたします。(回答率54%)



「よくできている」「どちらかといえばできている」の肯定的回答の割合に着目すると、「授業がわかりやすい」「基礎的な内容の定着」については、85%を超えており、昨年度に比べよい結果となりました。「家庭学習の習慣化」は、昨年度に比べ10%以上高い64%でした。「テレビやゲームの時間」は45%で、こちらの割合も昨年度に比べよい結果となりましたが、50%を下回る結果となっています。

今回の結果を踏まえ、引き続き「わかりやすい授業」「基礎的な内容の定着」を図るために、教員の校内研修を充実させ、授業力向上に努めてまいります。また、朝学習、ことばの時間などを活用したり、滝小テスト等の取組を含め、授業と家庭学習とを連動した取組も継続したりして学習内容の定着を図っていきます。授業では、自分の考えを発表する機会を多く設定し、自分の考えを表現する力を高めるとともに、友達の発言から考えを広げたり深めたりできるようにしていきます。

「テレビやゲームの時間」については、各種調査でも明らかになっている課題であることから、家庭でのきまりや居間8ルールを守っていくよう、子どもと大人が一緒になって、改善に向けて取り組む必要があります。学校では、ノーメディアデーの取組の際に、家庭での取組例を紹介するなど、取組の充実を図ります。

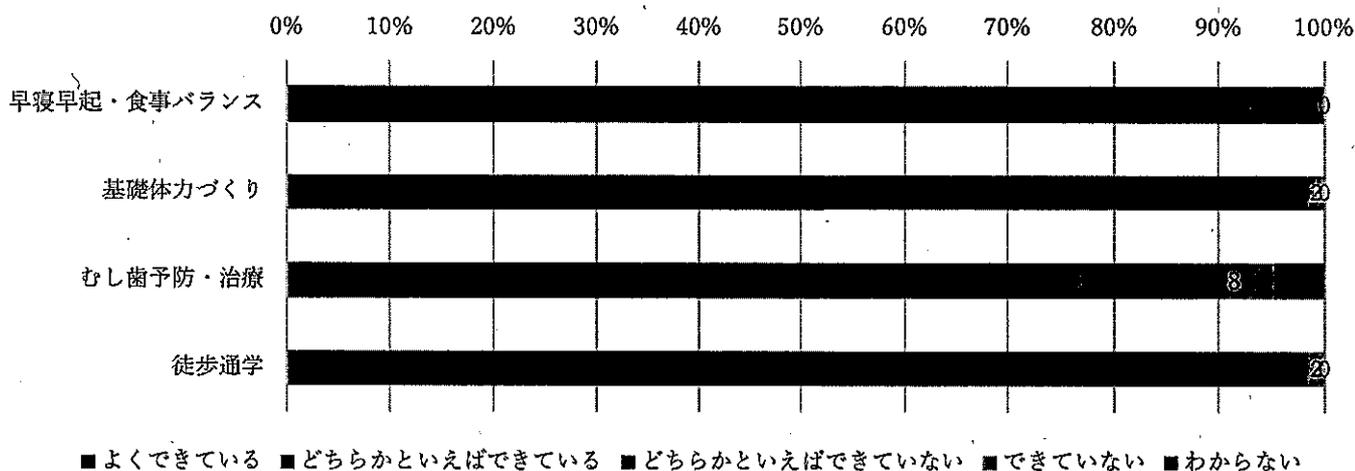


「よくできている」「どちらかといえばできている」の肯定的回答の割合に着目すると、「人間関係・楽しい学級」「思いやりのある言動」「ルールとマナーを守る」は、80%以上となっており、昨年度、課題があった「人間関係・楽しい学級」の項目で良化が見られました。「進んであいさつ・正しい言葉遣い」は、昨年度よりやや低い66%でした。「進んで読書」は41%で、昨年度に比べてよい結果となりましたが、改善が望まれる項目となっています。

あいさつについては、12月の学校運営支援協議会にて、委員の方々から「昨年度に比べよくなった」という声が多数あったところですが、学校では、児童会活動などを通して、進んであいさつをする児童の育成に向けて、更に力を入れていきます。正しい言葉遣いについては、授業中の丁寧な言葉遣いはもちろんのこと、友達同士間での言葉遣いについても指導していきます。また、相手のことを考えた言動や、友達の名前を呼ぶときは、「くん」「さん」「ちゃん」を付けることを基本としていきます。場に応じた言動がとれるよう、家庭でも一緒になって子どもたちを見守っていただきたいです。

読書については、学校では、進んで読書をする子どもたちの姿が多く見られており、児童アンケートでは肯定的回答が90%以上となっておりました。本項目の目標である60%以上を目指し、学校では取組を工夫してまいります。家庭では、家読や親子読書の取組と併せて、メディアとの上手な付き合い方等について、学校と連携した取組へのご協力をお願いいたします。

### 元気で活動する子



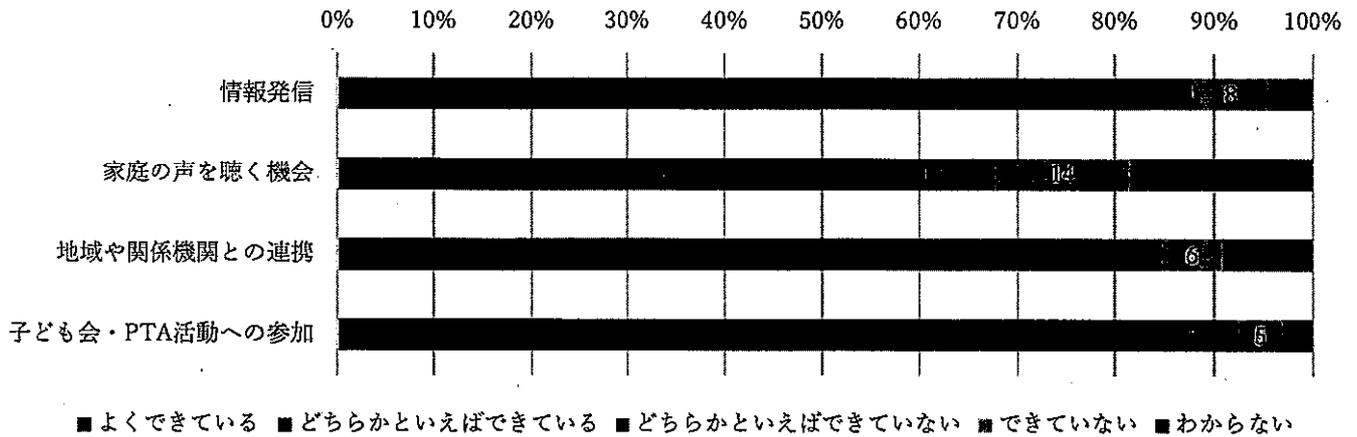
「早寝早起き、食事バランス」の肯定的回答の割合は85%でした。昨年度から20%近く改善しています。各家庭で、規則正しい生活に向けて取り組んでいることがわかります。今後は、「よくできている」の割合が高くなるよう、望ましい就寝時刻や起床時刻、バランスのよい食事など、これまでの取組を家庭と連携しながら進めていきます。

「基礎体力づくり」については、肯定的回答の割合が86%で、昨年度から30%近く改善しています。今後も、「60運動」の取組を含めて体を積極的に動かす取組を継続してまいります。

「むし歯の予防・治療」については、肯定的回答の割合が65%で、昨年度に比べ20%低くなっており、「よくできている」の割合も20%にとどまっております。学校では、検診等の結果を受けて受診を勧めてまいりますので、お子さんの健康なからだづくりに向け、早めの受診をお願いいたします。

「徒歩通学」については、肯定的回答の割合が86%で、昨年度より10%近く高い結果でした。本取組について、ご家庭のご理解とご協力に感謝いたします。

## 開かれた学校



「積極的な情報発信」の肯定的回答の割合は66%でした。また、昨年度に比べ否定的回答の割合が多くなりました。学校では、校報や学級通信等を随時発行し、教育活動の様子を発信しておりましたが、保護者記述の内容を踏まえると、「まなびポケットの運用」に関することについて、本結果の要因があると捉えております。今後は、「まなびポケット」を活用した情報発信の在り方を見直し、改善を進めてまいります。具体的な運用については、「保護者記述」に対する回答をお読みください。

「家庭の声を聴く機会」の肯定的回答の割合が56%で、昨年度から20%程度下がりました。学校では、授業参観以外でも、保護者が来校する機会を様々な機会で開催したり、随時、保護者からの相談などにも対応したりしてきましたが、十分ではないとの評価が多いことを受け止め、改善策を検討してまいります。

「地域や関係機関との連携」「子ども会・PTA活動への参加」の項目については、肯定的回答の割合が75%以上でした。今後も、学校支援ボランティアの活動や地域の方を招いての学習など、地域や関係機関と連携を図りながら、活動や取組を展開するよう努めてまいります。

# 令和8年度学校経営計画

## はじめに

本校の学校経営にあたっては、児童の命、安全、人権を守ることを前提に、憲法、教育基本法、各教育法規はもとより、県「学校教育指導指針」の重点施策を踏まえ、児童の実態や地域社会の実情等に立ち、児童、保護者からの信頼を得ながら、次の経営方針のもと、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた「生きる力」を育む教育活動を進める。

## 1 基本方針

- (1) 児童と職員のつながりを大切にし、温かな気持ちで互いに認め合える学校づくりを推進する。
- (2) 好ましい人間関係に基づく学級経営を土台とし、教育活動を推進する。
- (3) 児童、職員とも生き生きと活動し、自己実現を目指す学校づくりを推進する。
- (4) 学校、家庭、地域が相互理解を深めながら連携し、開かれた学校運営を推進する。
- (5) 組織的かつ協働体制のもと、目標達成型の学校経営を推進する。

## 2 学校教育目標

未来に向かって、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育む子どもの育成  
 わかるまで考える子(知) 思いやりのある子(徳) 元気で活動する子(体)

これからの学校は学習指導要領の着実な実施により

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

## 3 目指す子ども像（育成を目指す資質・能力）

	わかるまで考える子(知)	思いやりのある子(徳)	元気で活動する子(体)
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>○望ましい学習習慣や学習規律を身に付ける</li> <li>○基礎的・基本的な知識や技能を習得する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自他の生命の大切さを理解する</li> <li>○社会的ルールや好ましいコミュニケーション技能を身に付ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○よりよい運動習慣、望ましい食習慣、規則正しい生活習慣を身に付ける</li> </ul>
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識・技能を活用して考え、根拠に基づいて自分の考えを表現する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他者と好ましい人間関係を築き、思いやりの心をもって行動する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康や安全に留意し、状況を適切に評価・判断して行動する</li> </ul>
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○協働的に学び合い、考えを深めたり広げたりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○協力して活動に取り組み、自他のよさや高まりを認める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目標に向かって粘り強く取り組み、共に高め合う</li> </ul>

#### 4 目指す学校像・教職員像

##### (1) 目指す学校像

- ア 地域、保護者に信頼され、児童、職員にとって安全安心な学校
- イ 子どもの「できた」「わかった」が溢れる学校
- ウ 個々の職員がやりがいや職務への充実感を感じることができる学校
- エ 地域と共にあり、地域を支える人づくりを担う学校

##### (2) 目指す教職員像

- ア 児童愛に溢れ、子どもの命を預かる責任感のある教職員
- イ 児童、保護者の期待、信頼に応えることのできる教職員
- ウ 諸課題に迅速かつ的確に対応できる教職員
- エ 他を認め、参画意識をもち、協働的に職務にあたることのできる教職員
- オ 自ら学び、時代のニーズに合わせ、研鑽に努める教職員

#### 5 本校の教育・経営課題

- (1) 自他の生命を大切にし、人権を尊重する心や命を守る危機管理能力の育成を図ること。
- (2) 自主自立を目指し、主体的に考え、行動する実践力の向上を図ること。よりよい学校生活を送ることができるよう、社会性や道徳性を身に付けさせること。
- (3) 主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業実践を行うこと。児童の多様性に組織的に対応しつつ、一人一人の学びを保障すること。
- (4) 子どもも教師も生き生きとした活力ある学校風土を醸成すること。
- (5) 地域との連携や積極的な情報の発信に努めること。保護者の学校理解に努め、協力体制をとりながら教育活動を進めること。

#### 6 今年度経営の重点

##### (1) 安心安全に通える学校環境づくり

- ア 教師と子ども、子ども同士の良好な人間関係づくりに留意し、他への思いやりや尊重する気持ちを育て、安心して学校に通えるような取組を進める。
- イ 自他の生命を大切にし、様々な災害や事故から自分の命を守ることができる力を身に付けさせるとともに、学校事故防止のための環境整備を徹底する。

##### (2) 学校生活に必要な資質の向上

- ア 目標に向かって主体的に物事に取り組むことができるよう、状況に応じて適切に支援を与えながら自主性や自立性を涵養する。
- イ 他者と協力し、円滑な人間関係を築きながら学校生活を送ることができるよう、コミュニケーション能力や協調性、ルールやマナーを守ることを身に付けさせる。
- ウ 状況に応じて善悪について考え、判断し、行動できるよう、教育活動全般において道徳性を涵養する。

### (3) 基本的学習内容の定着と学力の向上

- ア 「わかる・できる授業」づくりを核として、学習内容の確かな定着と課題に対して意欲的に自分の考えをもち、また友達の考えを聞く等協働的な学習を進める。
- イ 児童が学びの主役となれる教師の授業コーディネート力を向上させる。主体的、能動的かつ個別最適な学習活動を充実させる。
- ウ 家庭学習において基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに、発達の段階に応じた自主的・自発的な学習に取り組み、学力の向上を図る。
- エ 家庭と連携し、家庭での学習環境づくりと学習習慣の確立を図るとともに、「居間8ルール」を活用したメディアとの上手な付き合い方や情報モラルの向上、家庭での時間の使い方など生活習慣の確立を図る。

### (3) 活気あふれる学校づくり

- ア 子どもたちの元気な挨拶の声、前向きに授業に取り組む姿など生き生きとした活気のある姿を目指した取組や活動を推進する。
- イ 自己の健康管理に努め、心身の健康や体力の維持向上を図ろうとする態度と実践力を身に付けさせる。
- ウ 教師も明るく元気な姿で子どもたちの前に立つことができるよう、教職員の働き方改革を推進する。

### (5) 開かれた学校づくり

- ア コミュニティ・スクールの運営、家庭や地域との連携により、育てたい子どもの姿を共有しながら教育活動を進める。
- イ 保護者との相談体制の充実、情報発信など教育活動の理解を進め、子どもたちの学び、成長をサポートする立場として協働する。
- ウ 学校評価、コミュニティ・スクールの運営を通して広く学校運営に対しての意見に耳を傾け、地域ぐるみで子どもたちを育てる体制づくりを進める。

## 7. 具体的取組

### (1) 確かな学力の育成

- ア わかる授業づくり <研究部・教務部>
  - (ア) 温かい人間関係と学習規律を基盤とした学習集団作り
  - (イ) 主体的・対話的で深い学びの実現
  - (ウ) 授業のユニバーサルデザイン化
  - (エ) 諸調査の分析と活用、学習内容の定着
- イ 学習指導要領の趣旨を生かした指導の実施 <教務部>
  - (ア) 教育計画の管理
  - (イ) ICTの効果的な活用
  - (ウ) カリキュラム・マネジメントの実践と改善

ウ 家庭学習の習慣化と内容の充実 <教務部>

(ア) 授業と連動、家庭と連携、ねらいのある家庭学習の充実

エ 朝学習等の有効活用 <教務部・研究部>

(ア) 集中力の向上と基礎学力の定着

(イ) 百マス計算、ことばの時間の充実

オ 研究・研修の充実による授業改善と指導力の向上 <研究部>

(ア) これまでの研究の成果が生かした授業改善

(イ) 授業力の向上、身に付けさせたい資質、能力の定着

(2) 豊かな心の育成

ア 温かい学級づくり <生徒指導部>

(ア) 児童理解と認め合ったり高め合ったりする人間関係づくり 復5・9

(イ) 自己指導能力(自己存在感・共感的な人間関係・自己決定)の育成 復1・3・4

(ウ) 教育相談の充実(「なかよしアンケート」「心とからだの健康観察」の活用) 復9

(エ) 相手を大切にしたい挨拶と返事、言葉遣いの指導 復5・6・7・9・10

(エ) 発達支持的生徒指導の推進

(オ) 個別指導内容の確認と共有(生徒指導情報交換会)

(カ) 規範意識の醸成 復4

(キ) 不登校対策(未然防止、早期発見、適切な対応)の推進、居場所のある学校・学級経営の充実

イ 人権教育の推進 <教務部・生徒指導部>

(ア) 児童の人権を尊重した学級経営、相手を大切にしたい聞き方、話し方の指導

(イ) いじめ対策(未然防止、早期発見、適切な対応)の推進

(ウ) 「滝沢小学校いじめ防止基本方針」の遂行

(エ) 児童会活動や学級活動等による人権意識の涵養

ウ 読書活動の充実 <教務部>

(ア) 読書の質と量の向上(読書ボランティアの活用)

(イ) 読書タイムの設定

エ 道徳教育(「親切、思いやり」「生命の尊さ」)の充実

(ア) 道徳の授業の充実

(イ) 復興副読本を活用したハートフルウィーク、ハートフルデイの実践 復8～21

オ 情報モラルの指導・ICT活用能力の向上 <教務部>

(ア) 全学年での計画的な指導と家庭への啓発活動

(イ) 授業でのICTの有効活用に関する研修の充実

カ 地域に学ぶ学習の推進 <教務部>

(ア) 伝統芸能「鶏舞」の継承 復12

(イ) ふるさと学習の実施 復2・10

(ウ) 米作り体験の実施 復2

(エ) 学校支援ボランティア事業の充実

(3) 健やかな体の育成

ア 健康な体づくりの推進 <教務部・健康安全部>

(ア) 準備運動プログラムを活用した運動能力の向上 (調査結果の活用)

(イ) 体力向上の推進 (外遊び・マラソン・縄跳び) 復7

(ウ) 学校坂の徒歩通学の奨励 復4

(エ) 食育の推進

(オ) 感染症の予防

(カ) 家庭と連携した基本的な生活習慣や食習慣の定着と疾病予防を図る取組 復1・7

イ 安全指導の充実 <健康安全部>

(ア) 危機予測や危機回避能力の育成と防災・防犯意識の高揚 復7

(イ) 家庭や地域と連携した交通安全指導の取組

(4) 特別支援教育の推進 (通常学級における支援を要する児童も含む) <教務部>

ア 個に応じた見通しのある組織的で柔軟な対応

イ 「個別の指導計画」と「個別の支援計画」を活用した指導

ウ 保護者との連携、情報提供と教育相談会の実施

エ 外部機関を活用した指導力の向上、研修の充実

(5) 復興教育・キャリア教育の推進

ア 復興教育の推進 <教務部>

(ア) 3. 11の語り継ぎ、復興教育に係る授業の実施

(イ) 復興教育の教育的価値一覧

いきる	かかわる	そなえる
1・2・3・4・5・6・7	8・9・10・11・12・ 13・14	15・16・17・18・ 19・20・21

イ キャリア教育の推進 <教務部・健康安全部>

(ア) 縦割り清掃を中心とした日常生活での実践 (働くことの意義、協力し、根気強く取組む大切さ)

復11

(イ) 自己肯定感の醸成、他者との好ましい人間関係づくり

(ウ) 地域体験活動の充実

(6) 学びの基盤づくり

ア 家庭・地域との協働による学校経営 <総務部>

(ア) 「まなびフェスト」を活用した「めざす子ども」の共有

(イ) 学校支援地域本部の事業の活用

(ウ) 地域人材、教材の活用による教育活動の充実

(エ) コミュニティ・スクール運営による特色ある学校づくりの推進

(オ) 情報発信と保護者の声を聞く機会の設定や工夫

イ 安全・安心な環境づくり <総務部・事務部>

(ア) 危機管理体制の確立とマニュアルに基づいた研修の実施 (アレルギー対応含む)

(イ) 安全点検の実行による清潔で安全な教育環境の整備

(ウ) 感染症予防の励行

(エ) ユニバーサルデザインの掲示や環境づくり

(オ) 家庭や関係機関との連携による地域の安全確認、登下校指導、見守り活動

ウ 教育目標の具現化を支える事務 <事務部>

(ア) 就学援助費に関わる情報提供

(イ) 適正な事務、会計処理の実施

エ 信頼される教職員と働き方改革の推進 <総務部>

(ア) コンプライアンス研修会の実施

(イ) 教育技術等を共に学ぶOJTの推進

(ウ) 労働安全衛生委員会を活用した意識改革と改善

(エ) 業務の適正化、環境整備、業務改善の意識化



学校教育目標：未来に向かって、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育む子どもの育成



学校では

- 学習規律を明確に示し、学習の基盤をつくりまします。
- 話し合い・学び合いを大切にし、わかる授業づくりに努めます。
- 朝学習や滝小タイムなどの取り組みにより、基礎的・基本的な技能を高めます。
- 家庭学習の取り組みにより、学習内容の定着を図ります。

- よいあいさつや言葉づかいについて日常的に指導し、温かい言葉が行き交う学校づくりを目指します。
- 教育活動全般を通して、思いやりの心を育み、規範意識を高めます。
- 行事やさまざまな活動を通して、社会性などを高め、自主自立の心を育みます。

- 食事や生活リズムについて、家庭と連携してよりよい習慣づくりを促します。
- 保健指導や避難訓練などを通して、健康や安全に気を付け、自分で考え、行動する力を高めます。
- 休み時間の運動や外遊びを通して、粘り強く取り組む態度と体力の向上を図ります。

～ 学校・学級経営計画への位置付け ～  
 評価の方法 教職員自己評価（12月）  
 ・学校運営支援協議会評価（2月）

子どもたちは

わかるまで考える子

- 学習規律や望ましい学習習慣を身に付ける。
- 基礎的・基本的な知識や技能を習得する。
- 自分の考えをみんなにわかるように表現する。
- みんなので学び合い、考えを広げたり深めたりする。

思いやりのある子

- 自分のことも他の人のことも大切にします。
- 進んであいさつをしたり、言葉づかいに気を付けて話したりします。
- きまりや約束を守って生活する。
- 相手の気持ちを考えて行動する。
- 友達と協力したり、助け合ったりして活動に取り組む。

元気で活動する子

- よりよい運動習慣、望ましい食習慣、規則正しい生活習慣を身に付ける。
- 病気やけがの予防に努め、健康で安全な生活を送る。
- 進んで体を動かすし、目標に向かって粘り強く取り組む。

～ 児童個人や学級のめあて・児童会の取組 ～  
 評価の方法 児童アンケート（12月）

家庭では

- 学習環境を整え（ノーマディア、学習場所など）、時間を決めて家庭学習や音読に取り組ませましょう。  
\*10分×学年+10分(音読含む)
- 毎日、家庭学習や音読の確認をしましょう。
- 家庭読書に取り組むよう働きかけましょう。

- 家庭でもあいさつを交わし、言葉づかいに気を付けて話しましょう。
- 子どもとの対話を大切にしましょう。
- 物事のよしあしを適切に判断できるよう促しましょう。
- 家族の一員として仕事をもたせて取り組ませましょう。

- 「早ね・早おき・朝ごはん・歯みがき」の生活リズムが整うよう働きかけましょう。
- 強い心と体づくりを目指し、※歩いて登下校をさせましょう。 ※非常時以外、原則学校扱は歩く。
- けがや病気に気を付けて生活するよう働きかけましょう。
- 情報機器は、「居間8ルール」や家庭のルールを守って使用させましょう。

～ PTAの取組・通信・懇談会等での発信 ～  
 評価の方法 保護者アンケート（12月）